

Family list

1 application(s) for: JP3018448 (U)

¹ No title available

Inventor:

Applicant:

EC:

IPC: (IPC1-7): A61L9/12

Publication JP3018448 (U) - 1995-11-21

Priority Date: 1994-07-09

info:

552 553 554 555 556 557 558 559 560 561 562 563 564 565 566 567 568 569 570 571 572 573 574 575 576 577 578 579 580 581 582 583 584 585 586 587 588 589 590 591 592 593 594 595 596 597 598 599 600 601 602 603 604 605 606 607 608 609 610 611 612 613 614 615 616 617 618 619 620 621 622 623 624 625 626 627 628 629 630 631 632 633 634 635 636 637 638 639 640 641 642 643 644 645 646 647 648 649 650 651 652 653 654 655 656 657 658 659 660 661 662 663 664 665 666 667 668 669 670 671 672 673 674 675 676 677 678 679 680 681 682 683 684 685 686 687 688 689 690 691 692 693 694 695 696 697 698 699 700 701 702 703 704 705 706 707 708 709 710 711 712 713 714 715 716 717 718 719 720 721 722 723 724 725 726 727 728 729 730 731 732 733 734 735 736 737 738 739 740 741 742 743 744 745 746 747 748 749 750 751 752 753 754 755 756 757 758 759 760 761 762 763 764 765 766 767 768 769 770 771 772 773 774 775 776 777 778 779 780 781 782 783 784 785 786 787 788 789 790 791 792 793 794 795 796 797 798 799 800 801 802 803 804 805 806 807 808 809 810 811 812 813 814 815 816 817 818 819 820 821 822 823 824 825 826 827 828 829 830 831 832 833 834 835 836 837 838 839 840 841 842 843 844 845 846 847 848 849 850 851 852 853 854 855 856 857 858 859 860 861 862 863 864 865 866 867 868 869 870 871 872 873 874 875 876 877 878 879 880 881 882 883 884 885 886 887 888 889 890 891 892 893 894 895 896 897 898 899 900 901 902 903 904 905 906 907 908 909 910 911 912 913 914 915 916 917 918 919 920 921 922 923 924 925 926 927 928 929 930 931 932 933 934 935 936 937 938 939 940 941 942 943 944 945 946 947 948 949 950 951 952 953 954 955 956 957 958 959 960 961 962 963 964 965 966 967 968 969 970 971 972 973 974 975 976 977 978 979 980 981 982 983 984 985 986 987 988 989 990 991 992 993 994 995 996 997 998 999 1000

Data supplied from the **espacenet** database — Worldwide

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号

第3018448号

(45) 発行日 平成7年(1995)11月21日

(24) 登録日 平成7年(1995)9月13日

(51) Int. Cl.⁵

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

A 6 1 L 9/12

評価書の請求 未請求 請求項の数 4 書簡 (全 6 頁)

(21) 出願番号 実願平6-9934

(22) 出願日 平成6年(1994)7月9日

(73) 実用新案権者 592118572

植田 秀樹

奈良県青芝市逢坂2丁目315-1 メゾン

逢坂3002

(72) 考案者 植田 秀樹

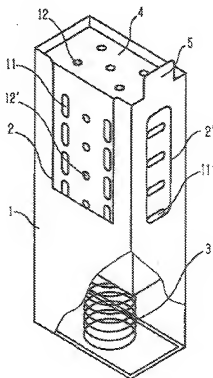
奈良県橿原市五井町121番地

(54) 【考案の名称】 消臭芳香剤発散装置用カートリッジ装置

(57) 【要約】

【目的】この考案は、消臭芳香剤発散装置におけるカートリッジ装置に関するものである。

【構成】任意の薄板で消臭芳香剤4及び昇降移動装置3が収納可能な箱1を形成し、消臭芳香剤4の発散用の開口部2を設ける。



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 任意の薄板で、消臭芳香剤4及び昇降移動装置3が収納可能な箱1を形成し、消臭芳香剤4の発散用の開口部2を設けた消臭芳香剤4の装填、取り出しが自由な消臭芳香剤発散装置用カートリッジ装置。

【請求項2】 開口部2を消臭芳香剤4の減少に伴い発散量の調整が行える形状にした請求項1の消臭芳香剤発散装置用カートリッジ装置。

【請求項3】 開口部2の横板面に残量確認の目安となる目盛りを設けた請求項1の消臭芳香剤発散装置用カートリッジ装置。

【請求項4】 さまざまな消臭芳香剤4の大きさや形に対応することができる請求項1の消臭芳香剤発散装置用カートリッジ装置。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本考案の斜視図

【図2】 本考案の使用例

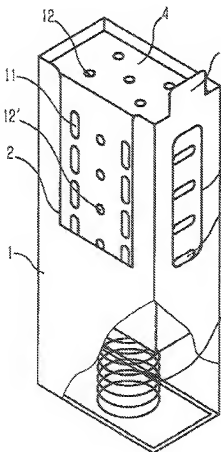
【図3】 本考案の他の実施例を示す斜視図

【図4】 本考案の他の実施例を示す斜視図

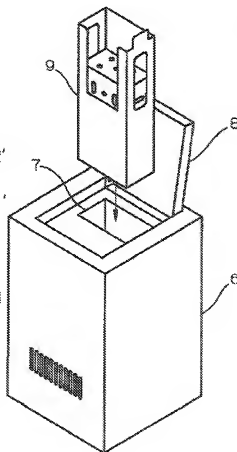
【符号の説明】

- 1は箱
- 2は開口部
- 3は昇降移動装置
- 4は消臭芳香剤
- 5は取手
- 6は消臭芳香剤発散装置
- 7は挿入口
- 8は消臭芳香剤発散装置の蓋
- 9はカートリッジ装置
- 10は目盛り
- 11は発散口
- 12は発散口

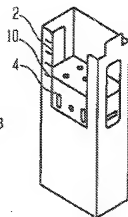
【図1】



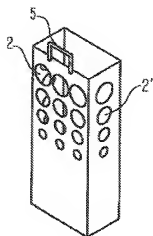
【図2】



【図4】



【図3】



【考案の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】

この考案は消臭芳香剤発散装置におけるカートリッジ装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】

従来の消臭芳香剤発散装置は、裏蓋や底面蓋を開閉して直接消臭芳香剤を出し入れするものであった。

【0003】

【考案が解決しようとする課題点】

従来の消臭芳香剤発散装置を壁に設置又は床置きにした場合、消臭芳香剤の残量確認や新旧交換は、装置を壁から降ろしたり、底面より消臭芳香剤を取り出すのに反転させるなどして、手間と危険を伴った。

【0004】

また、消臭芳香剤の残量確認において、取り出した消臭芳香剤を直接目視で行う方法では不確実であった。

【0005】

そして、さまざまな消臭芳香剤の大きさや形に対応することができず、発散装置は専用の大きさ、形の消臭芳香剤に限定されていた。

【0006】

さらに、大きな発散装置等では手の入る大きな開口部を設けなければ、消臭芳香剤を発散装置に装填できなかった。

【0007】

以上の課題点を解決する為に本考案は開発された。

【0008】

【課題を解決するための手段】

任意の薄板で、消臭芳香剤4及び昇降移動装置3が収納可能な箱1を形成し、消臭芳香剤4の発散用の開口部2を設けた消臭芳香剤発散装置用カートリッジ装

置。

【0009】

【作用】

本考案は、図2で示すように充散装置から容易にカートリッジを取り出し消臭芳香剤の新旧交換が行える。

【0010】

また、カートリッジ装置に昇降移動装置を使用することによって、消臭芳香剤の残量をその浮上度合いで、簡単かつ正確に確認することができる。

【0011】

さらに、カートリッジ装置では消臭芳香剤の大きさや形を変えることが可能である。

【0012】

そして、カートリッジ装置の開口部の大きさ、形状、数により、消臭芳香剤の充散量の調整が行える。

【0013】

【実施例】

図1は本考案の第一の例である。昇降移動装置3に圧縮コイルバネを使用したものと及び消臭芳香剤4が収納可能な底のついた箱1を形成し、消臭芳香

剤4の充散口2を手前1ヶ所は「」の字の切欠とし、他3箇に角孔、上部に取手5を設けた。尚、昇降移動装置3は圧縮コイルバネに限定はなく、その他の方法をとってもよい。

【0014】

図2は本考案の使用例で、図では上からカートリッジ装置9を取り出しているが、取り出し方向に限定はなく、前面又は横から取り出す方法を実施してもよい。

【0015】

図3は本考案の第二の例で、図のように開口部2は上方が大きくなっており、開口部2の大きさや数により消臭芳香剤4の充散量を調整する機能を設けたものである。尚、開口部2はその形状、大きさ、数に限定はない。また取手5もその

形状、位置に限定はなく、存在しなくてもよい。

【0016】

図4は本考案の第三の例で、開口部2の横板面に消臭芳香剤4の残量確認の目安となる目盛り10をうつことを実施する。

【0017】

【考案の効果】

したがって、安全にかつ容易に発散装置からカートリッジ装置を取り出すことができ、消臭芳香剤の残量確認や新旧交換が正確、簡単である。

【0018】

また、さまざまな大きさ、形の消臭芳香剤にも対応でき、発散量の調整も簡単かつ正確に行える。